

環境経営レポート

期間：2023 年 9 月～2024 年 8 月（137 期）

発行日：2024 年 11 月 22 日（金）

改訂日：2025 年 1 月 22 日（金）

株式会社

 一 誠 社

目次

1：組織の概要.....	3p
2：対象範囲.....	4p
3：実施体制.....	5p
4：環境経営方針.....	6p
5：環境経営目標.....	7p
6：環境経営計画.....	9p
7：環境経営目標の実績.....	10p
8：環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容...	11p
9：138 期及び中長期の環境経営目標...	12p
10：環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無...	13p
11：代表者による全体評価と見直しの結果...	14p

1：組織の概要

- ・事業所名・代表者名

株式会社 一誠社

代表取締役 中尾 僚宏

- ・所在地

愛知県名古屋市中昭和区下構町 2－2 2

- ・環境保全関係の担当者連絡先

担当者 中尾 僚宏

連絡先 電話 052-851-1171 FAX 052-842-2824

- ・事業の概要

印刷物の製造

- ・会社の規模

従業員数 43 人

延べ床面積 400m²

2：対象範囲

- ・ 認証・登録番号

0000120

- ・ 認証・登録範囲

対象組織：本社（全組織）

事業活動：印刷物の製造

- ・ 対象者

正社員・パートを含む、全ての従業員

- ・ レポートの対象期間及び発行日

発行日：2024 年 11 月 22 日

期間：2023 年 9 月～2024 年 8 月

3：実施体制

当社は、エコアクション 21 環境マネジメントシステムを構築、運用、維持し、環境への取組みを以下の実施体制で行う。

担 当	役割・責任・権限
代表者（代表取締役）	・エコアクション 21 に関する代表責任者 ・エコアクション 21 実施における必要な経営資源を用意する。 ・環境管理責任者の任命を行う。 ・環境方針の制定、改訂及び全社員への周知 ・全体の評価と見直しを実施する。 ・環境マネジメントシステムの承認
環境管理責任者	・環境マネジメントシステムを確立し、実施し、維持する。 ・代表者への報告
事務局	・エコアクション 21 における文書の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 ・環境活動レポートの作成
部門責任者	・各部門における環境マネジメントの実施・維持 ・各記録の実施
全社員	・環境方針の理解 ・各個人における環境マネジメントの実施

4：環境経営方針

当社は、我々の生活の場である環境を、社員と企業が協力して、小さな事でも出来る事から、また出来る事は社内にとどまらず、家庭生活、企業活動とあらゆる分野で環境の保全と改善につとめ、環境負荷を継続的に低減していきます。

また、印刷業務に伴う環境への負荷を低減するために、以下の環境への取組を行います。

- ① 原材料の仕入、製造、販売、廃棄に至る全ての工程で無駄をなくすことによって、廃棄物の削減に努めます。
- ② 原材料は、環境に配慮した製品を使用するように努めます（グリーン購入）。
- ③ 企業活動で発生する二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- ④ 紙の包み紙を製品の包み紙として使用することによって、リユースに努め、循環型社会に貢献します。
- ⑤ 地域の方々とのパートナーシップにより、環境保護活動に積極的にとり組みます。
- ⑥ 当社に適用される環境に関連する法規制を遵守します。

平成 17 年 10 月 30 日制定

平成 23 年 9 月 1 日改定

株式会社 一誠社
代表取締役 中尾 僚宏

5：環境経営目標

当社は、名古屋市エコ事業所の認定を平成 15 年 2 月 25 日に受けており、以前から環境に対しての配慮を行ってきた。例えば、

1. 印刷機械、製本機械のから回しを削減する、不必要な照明は切る、コンピュータ、プリンター、コピーは必要な時のみ電源をいれることによって、電気消費量を削減する。
2. 清掃・洗浄の際の節水を心がける。
3. 紙を購入した際に包まれている包装紙を、納品の際の包装紙に再利用する。使用済みの紙を回収業者に依頼して、資源ごみとして回収してもらう。
4. 化学物質使用量の削減の観点から、使用量把握及び適切な使用を心がける。
5. グリーン購入の観点から顧客に再生紙の使用を提案する。事務用品等は優先的に環境配慮型商品を購入する。
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮の観点から環境配慮設計（印刷用紙の取りムダの少ない使用等）の提案を行う。

などである。

そこで 137 期は以下の目標を掲げて環境活動に取り組んだ。

1. 二酸化炭素排出量の削減 → 二酸化炭素排出量の削減、または現状維持に努める。
(過去 3 期、134・135・136 期の平均値 102926 kg-CO₂ を基準値とし、そこから+2%以内を数値目標とする)
2. 総排水量の削減 → 水使用量の削減、または現状維持に努める。
(過去 3 期、134・135・136 期の平均値 348 m³を基準値とし、そこから+2%以内を数値目標とする)
3. 廃棄物排出量の削減 → 一般廃棄物排出量の削減、または現状維持に努める。
(過去 3 期、134・135・136 期の平均値 16026 kg を基準値とし、そこから+2%以内を数値目標とする)
4. 化学物質使用量の削減 → 使用量の把握及び適切な使用を心がける。
5. グリーン購入 → グリーン購入製品（主に紙）は高い。従ってメーカーに価格を抑えるよう努め、顧客にグリーン購入製品の使用を提案する。
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮 → 紙の包み紙を製品の包み紙として再利用する。
無駄な作業（ミス等）を削減する。

なお、中長期的な目標として以下をあげる。

1. 二酸化炭素排出量の削減 → 二酸化炭素排出量の削減、または現状維持に努める。
(二酸化炭素排出量を 137 期から 139 期までに 134 期から 136 期の実績平均値 102926 kg-CO₂ を目標値とし、それ以下に抑える。)
2. 総排水量の削減 → 水使用量の削減、または現状維持に努める。
(水使用量を 137 期から 139 期までに 134 期から 136 期の実績平均値 348 m³ を目標値とし、それ以下に抑える。)
3. 廃棄物排出量の削減 → 一般廃棄物排出量の削減、または現状維持に努める。
(一般廃棄物排出量を 137 期から 139 期までに 134 期から 136 期の実績平均値 16026 kg を目標値とし、それ以下に抑える。)
4. 化学物質使用量の把握及び適切な使用を心がける。
(取組を 136 期から 140 期までの 5 年間続ける)
5. グリーン購入製品の使用を顧客に推奨し、より多くの環境に配慮した製品を使用するようにする。
(取組を 136 期から 140 期までの 5 年間続ける)
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮として、紙の包み紙を製品の包み紙として再利用することによって循環型社会に貢献する。
(取組を 136 期から 140 期までの 5 年間続ける)

6：環境経営計画

原材料の仕入、製造、販売、廃棄に至る各工程において、環境への負荷を低減するために、以下の活動を行う。

活動項目	実施責任者	実施担当者	主な活動内容	活動期間
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①電力使用量の削減	環境管理責任者	全社員	・冷暖房の設定温度を、冷房は 28℃、暖房は 20℃に設定 ・使用しない場所の消灯（昼休み、就業時間外） ・使用しないパソコンのモニターは電源を OFF にする ・エアコンのフィルター清掃 ・コピー機を使用しない際の電源 OFF ・印刷機械、製本機械のから回しを削減する	9月～翌年8月
1. 二酸化炭素排出量の削減 ②ガソリン使用量の削減	環境管理責任者	営業部	・無駄なアイドリングの防止 ・急発進・急加速をしない運転を心がける ・不要な荷物は載せないようにする	9月～翌年8月
2. 総排水量の削減	環境管理責任者	印刷部	・印刷機械のローラー清掃の際の節水	9月～翌年8月
3. 廃棄物排出量の削減	環境管理責任者	全社員	・ゴミの分別の徹底 ・コピー用紙の両面使用 ・残紙や切り紙・段ボール等のリサイクル ・紙の購入時の包装紙のリサイクル	9月～翌年8月
4. 化学物質使用量の削減	環境管理責任者	製版・印刷部	・洗浄液の適切な使用	9月～翌年8月
5. グリーン購入	環境管理責任者	総務・営業部	・事務用品等は優先的にエコ商品の購入に努める ・顧客に再生紙の使用を提案する	9月～翌年8月
6. 環境配慮等	環境管理責任者	営業・DTP制作・印刷・製本部	・印刷用紙の取りムダの少ない使用 ・紙の包み紙を製品の包み紙として再利用 ・無駄な作業の削減	9月～翌年8月

7：環境経営目標の実績

「5：環境経営目標」で定めた環境負荷低減の目標は以下の通りである。

1. 二酸化炭素排出量の削減 → 二酸化炭素排出量の現状維持に努める。
2. 総排水量の削減 → 水使用量の現状維持に努める。
3. 廃棄物排出量の削減 → 一般廃棄物排出量の現状維持に努める。
4. 化学物質使用量の削減 → 使用量の把握及び適切な使用を心がける。
5. グリーン購入 → メーカーに価格を抑えるよう努め顧客に再生紙の使用を提案する。
6. 製品に関する環境配慮 → 紙の包み紙を製品の包み紙として再利用。

これらの目標を踏まえ、137期の実績を下記の表にまとめた。

評価基準について、二酸化炭素排出量、総排水量、一般廃棄物排出量は目標値を達成した場合は○、目標未達成の場合は×とする。

化学物質排出量、グリーン購入、環境配慮は環境活動計画の取組結果をそれぞれの実績・評価とする。
行われている・概ね行われているは○、あまり行われていないは△、行われていないは×とする。

137期（2023年9月～2024年8月）の実績 ※ 対基準比(%)の小数点未満の値は四捨五入で表記してあります

項目	単位	基準値 134期～ 136期平均	目標 (基準値+2%以下)	137期 実績	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	102926	104985 以下	93928 (89%)	○
電力購入量	kWh	171760	—	170488	—
ガソリン使用量	ℓ	6216		5958	
都市ガス	Nm ³	56		53	
灯油	ℓ	505		560	
総排水量	m ³	348	354 以下	335 (95%)	○
一般廃棄物排出量	kg	16026	16347 以下	14776 (90%)	○
可燃ゴミ	kg	—		756	—
再生紙(残紙等)				14020	
化学物質使用量	—	—	使用量の把握 適切な使用	概ね行われている	○
グリーン購入	—	—	顧客に再生紙の使用を 提案する	あまり行われていない	△
製品に関する環境配慮	—	—	紙の包み紙を再利用 無駄な作業の削減	概ね行われている	○

※二酸化炭素実排出係数は 0.459 kg-CO₂/kWh（2022年 中部電力ミライズ株式会社）として上記の値を換算した。

8：環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組内容	評 価		次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減			
①電力使用量の削減			
・冷暖房の設定温度を、冷房は 28℃、暖房は 20℃に設定	○	概ね行われている	次年度も継続して行うが、こまめな設定変更が必要である
・使用しない場所の消灯（昼休み、就業時間外）	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・使用しないパソコンのモニターは電源を OFF にする	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・エアコンのフィルター清掃	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・コピー機を使用しない際の電源 OFF	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
②ガソリン使用量の削減			
・無駄なアイドリングの防止	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・急発進・急加速をしない運転を心がける	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・不要な荷物は載せないようにする	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
2. 総排水量の削減			
・印刷機械のローラー清掃の際の節水	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
3. 廃棄物排出量の削減			
・ゴミの分別の徹底	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・コピー用紙の両面使用	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・残紙や切り紙・段ボール等のリサイクル	○	行われている	次年度も継続して行う
・紙の購入時の包装紙のリサイクル	○	行われている	次年度も継続して行う
4. 化学物質使用量の削減			
・洗浄液の適切な使用	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
5. グリーン購入			
・事務用品等は優先的にエコ商品の購入に努める	△	あまり行われていない (コピー用紙はエコ商品を購入した)	可能な限り、次年度も継続して行う
・顧客に再生紙の使用を提案する	△	あまり行われていない (コストの問題で採用は困難な場合がある)	可能な限り、次年度も継続して行う
6. 環境配慮等			
・印刷用紙の取りムダの少ない使用	○	概ね行われている	可能な限り、次年度も継続して行う
・紙の包み紙を製品の包み紙として再利用	○	概ね行われている	次年度も継続して行う
・無駄な作業の削減	○	行われている	次年度も継続して行う

※評価基準…行われている・概ね行われている(業務上行えないことがある)は○

あまり行われていないは△、行われていないは×

9：138 期及び中長期の環境経営目標

138 期の環境目標

1. 二酸化炭素排出量の削減 → 二酸化炭素排出量の削減、または現状維持に努める。
過去 3 期、135・136・137 期の平均値を基準値とし、そこから+2%以内を数値目標とする。
2. 総排水量の削減 → 水使用量の削減、または現状維持に努める。
過去 3 期、135・136・137 期の平均値を基準値とし、そこから+2%以内を数値目標とする。
3. 廃棄物排出量の削減 → 一般廃棄物排出量の削減、または現状維持に努める。
過去 3 期、135・136・137 期の平均値を基準値とし、そこから+2%以内を数値目標とする。
4. 化学物質使用量の削減 → 使用量の把握及び適切な使用を心がける。
5. グリーン購入製品（主に紙）は高い。従ってメーカーに価格を抑えるよう努め、顧客がグリーン購入製品を使うことができるよう会社として努力していく。
6. 紙の包み紙を製品の包み紙として再利用する。

中長期の環境目標

なお、中長期的な目標として以下をあげる。

1. 二酸化炭素排出量の削減 → 二酸化炭素排出量の削減、または現状維持に努める。
（二酸化炭素排出量を 137 期から 139 期までに 134 期から 136 期の実績平均値 102926 kg-CO₂ を目標値とし、それ以下に抑える。）
2. 総排水量の削減 → 水使用量の削減、または現状維持に努める。
（水使用量を 137 期から 139 期までに 134 期から 136 期の実績平均値 348 m³ を目標値とし、それ以下に抑える。）
3. 廃棄物排出量の削減 → 一般廃棄物排出量の削減、または現状維持に努める。
（一般廃棄物排出量を 137 期から 139 期までに 134 期から 136 期の実績平均値 16026 kg を目標値とし、それ以下に抑える。）
4. 化学物質使用量の把握及び適切な使用を心がける。
（取組を 136 期から 140 期までの 5 年間続ける）
5. グリーン購入製品の使用を顧客に推奨し、より多くの環境に配慮した製品を使用するようにする。
（取組を 136 期から 140 期までの 5 年間続ける）
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮として、紙の包み紙を製品の包み紙として再利用することによって循環型社会に貢献する。
（取組を 136 期から 140 期までの 5 年間続ける）

10：環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法 律 名	対 象	要求事項	遵守状況
環境基本法	環境全般	公害防止・廃棄物等の適切な対応	○
廃棄物処理法	産業廃棄物	委託業者との契約、委託先の現地確認 マニフェストの管理など	○ ○
振動規制法	印刷機械	特定施設の設置の届出 規制基準の遵守	○ ○
騒音規制法	印刷機械	特定施設の設置の届出 規制基準の遵守	○ ○
エネルギーの使用 の合理化に関する 法律（省エネ法）	環境全般	規則の遵守	○
PRTR 法	製版工程・印刷工程	指定化学物質の排出量の把握 SDS の取り寄せ	○ ○
消防法	社内	適切な防火設備 消火器設置	○ ○
フロン排出抑制法	社内	対象機器の簡易点検	○

これらの法規が確実に遵守されていることを確認した。

また、インターネットで必要な際に参照でき、常に最新のものが収集できる体制になっている。

なお、違反については、過去三年間において関係機関などから特に指摘されたものはなく、訴訟などについても一件もなかった。

11：代表者による全体評価と見直しの結果

本年も環境負荷低減目標は、無駄な作業をできる限り削減するという事に絞り行っている。無駄な作業を減らせば、電気、水、原材料をはじめ環境負荷項目の全てを削減できるからである。この無駄な作業の時間を3年測定し、平均時間を3年で10%削減するという目標を設定し運用し始めた。本年は101時間で、増加傾向にある。来期も環境負荷をできる限り削減できるよう、取り組んでいく。ここ数年、エネルギー価格、それにともない、原材料仕入れの価格上昇、そして働き方改革や賃上げなど、社会変化が急激に変化している。環境負荷低減が実現するとその分少しでも利益に繋がることもあるので、引き続き社員へ削減するよう周知させていく。今期は印刷汚れによるミスが目立つように感じる。猛暑などの環境変化の影響もあるが、製品の安定供給の為に、工程や検査を設けたりして改善していく。それぞれの工程チェックで全て発見されて、外部に納品されることなど、大事には至ってないが、教育と注意点の周知に努めていくことが引き続き必要である。

また弊社工場内はLED照明の部分とそうでない部分とある。引き続きLED照明に変えることにより、わずかな環境負荷でも削減できる。今後、数年かけて順次交換していく。

長年続けている無駄な作業時間のその値は、仕事上のミスや効率の悪い仕事のやり方、仕事量により左右され、一定の値では無いが、引き続き社内で環境意識を高めれば、削減を維持、達成できるものであると確信し、今後も継続して行う。

環境方針等、環境経営システムは見直しを行ったが、変更はしない。

2024年11月15日
株式会社一誠社
代表取締役 中尾 僚宏